

ALPS 海外派遣プログラムに参加して (Web 公開用記事)

東京大学大学院 理学系研究科 化学専攻 博士後期課程 2 年 川畑慎太郎

私は博士後期課程で、鉄(II)イオンのスピントロニクスオーバー現象を示す磁性体の研究に取り組んでいるが、この研究を進めるにあたってメスバウアー測定と解析に関して知見を広げたいと考えていた。そこで本プログラムを利用して物質化学を基盤とし、メスバウアー測定・解析にも精通したドイツ、ライプニッツハノーファー大学のフランツ・レンツ教授の下を訪問した。レンツ教授の研究室では、私が合成した鉄イオンを含む磁性錯体のメスバウアー測定を行い、鉄イオンのスピン状態について解析を行った。レンツ教授とのディスカッションでは、メスバウアースペクトルの解析手法だけでなく、その結果から考えられる錯体の構造歪みやスピン転移の進行度などを詳細に教えていただき、大変有意義な時間を過ごした。この訪問を通して分光法・構造化学に対する理解を一層深めることができた。

滞在期間： 2020 年 2 月 11 日~2020 年 3 月 4 日



ハノーファー大学本館をバックに 1 枚